

【地方創生拠点整備タイプ】

未来体育館での健康・地域活性化事業

			事業開始前 (現状値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	累計
KPI① スポーツツーリズムによる経済波及効果(万円)	KPI	総数	140,168	-	-	-	180,168	212,500	-
		差分	-	-	-	-	+40,000	+32,332	+72,332
	実績値	総数	140,168	-	-	-	-	-	-
		差分	-	-	-	-	-	-	+0
KPI② スポーツ合宿誘致件数(件)	KPI	総数	0	-	-	-	50	100	-
		差分	-	-	-	-	+50	+50	+100
	実績値	総数	0	-	-	-	-	-	-
		差分	-	-	-	-	-	-	+0
KPI③ 年間宿泊者数(百人)	KPI	総数	918	-	-	-	968	1,018	-
		差分	-	-	-	-	+50	+50	+100
	実績値	総数	918	-	-	-	-	-	-
		差分	-	-	-	-	-	-	+0
KPI④ 文化・スポーツ複合施設利用者数(人)	KPI	総数	0	-	-	-	30,000	40,000	-
		差分	-	-	-	-	+30,000	+10,000	+40,000
	実績値	総数	-	-	-	-	-	-	-
		差分	-	-	-	-	-	-	+0

※現状値は令和2年度の実績値

四方八方絶景三昧！ActiveField形成プロジェクト

			事業開始前 (現状値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	累計
KPI① 八方ヶ原の観光入込数(人)	KPI	総数	153,930	163,930	178,930	193,930	203,930	213,930	-
		差分	-	+10,000	+15,000	+15,000	+10,000	+10,000	+60,000
	実績値	総数	153,930	172,660	161,150	-	-	-	-
		差分	-	+18,730	-11,510	-	-	-	+7,220
KPI② 山の駅たかはらの利用者数(人)	KPI	総数	61,215	64,215	72,215	78,215	80,215	82,215	-
		差分	-	+3,000	+8,000	+6,000	+2,000	+2,000	+21,000
	実績値	総数	61,215	69,870	64,984	-	-	-	-
		差分	-	+8,655	-4,886	-	-	-	+3,769
KPI③ 山の駅たかはらの売上高(万円)	KPI	総数	1,886	2,146	2,616	2,736	2,776	2,796	-
		差分	-	+260	+470	+120	+40	+20	+910
	実績値	総数	1,886	1,561	1,568	-	-	-	-
		差分	-	-325	+7	-	-	-	-318

※現状値は令和元年度の実績値

「シームレスなスマート・スポーツ合宿」を実現するモデル施設整備事業

			事業開始前 (現状値)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	累計
KPI① スポーツツーリズムによる年間経済波及効果(万円)	KPI	総数	121,905	150,505	195,505	212,505	215,005	220,005	-
		差分	-	+28,600	+45,000	+17,000	+2,500	+5,000	+98,100
	実績値	総数	121,905	118,602	-	-	-	-	-
		差分	-	-3,303	-	-	-	-	-3,303
KPI② 城の湯やすらぎの里全体の年間売上高(指定管理料を除く)(万円)	KPI	総数	5,690	7,430	11,008	11,090	11,158	11,226	-
		差分	-	+1,740	+3,578	+82	+68	+68	+5,536
	実績値	総数	5,690	5,169	-	-	-	-	-
		差分	-	-521	-	-	-	-	-521
KPI③ 城の湯やすらぎの里スポーツ合宿(宿泊)団体数(団体)	KPI	総数	0	0	50	60	70	80	-
		差分	-	+0	+50	+10	+10	+10	+80
	実績値	総数	0	-	-	-	-	-	-
		差分	-	-	-	-	-	-	+0
KPI④ 文化スポーツ複合施設利用者数(人)	KPI	総数	0	0	30,000	40,000	47,000	52,000	-
		差分	-	+0	+30,000	+10,000	+7,000	+5,000	+52,000
	実績値	総数	0	-	-	-	-	-	-
		差分	-	-	-	-	-	-	+0

※KPI①:現状値は令和3年度の実績値

※KPI②:現状値は令和2年度の実績値

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ） 効果検証シート（R5実績分）

事業名	未来体育館での健康・地域活性化事業						
事業概要	<p>スポーツ交流人口の更なる増加や、市民の健康づくりを進めるため、AI、5G通信を活用した未来技術を導入した文化スポーツ複合施設を中心市街地の「とちぎフットボールセンター」同一敷地内に整備する。</p> <p>未来技術を活用して文化活動の映像配信、スポーツ活動の行動分析、市民の健康診断及び保健指導のほか、スポーツ合宿の誘致等のスポーツツーリズムの展開を図り、地方創生の拠点施設としてまちづくりを推進していく。</p> <p>未来技術を活用した事業にて得られたビッグデータは民間に対して共同利用を図り、施設を中心としてSociety5.0の実現と発信を進める。</p>						
事業内容	<p>「とちぎフットボールセンター」敷地内に、バスケットボールコート2面、うち1面は収納可能な観覧席を有する文化スポーツ複合施設を建設する。</p> <p>施設内にはAI技術等の未来技術を導入し、映像データ、運動データ、健康づくりデータ、周遊・行動記録データ、障がい支援データ、災害関連データを取得、蓄積していく。</p> <p>スポーツ・文化活動の映像配信、トレーニング環境の整備とスポーツドック事業、健康ステーション事業、地域・観光情報サービス事業、施設利用者への各種情報提供等の事業を実施し、市内外から人を呼び込み地域経済の活性化を図る。</p>						
KPI①	スポーツツーリズムによる経済波及効果（万円）						
KPI②	スポーツ合宿誘致件数（件）						
KPI③	年間宿泊者数（百人）						
KPI④	文化・スポーツ複合施設利用者数（人）						
	事業開始前 （現状値）	1年目 令和3年度	2年目 令和4年度	3年目 令和5年度	4年目 令和6年度	5年目 令和7年度	KPI増加分 の累計
目標値（KPI①）	140,168.0	0.0	0.0	0.0	40,000.0	32,332.0	72,332.0
目標値（KPI②）	0	0	0	0	50	50	100
目標値（KPI③）	918	0	0	0	50	50	100
目標値（KPI④）	0	0	0	0	30,000	10,000	40,000
実績値（KPI①）	/	0.0	0.0	0.0			0.0
実績値（KPI②）	/	0	0	0			0
実績値（KPI③）	/	0	0	0			0
実績値（KPI④）	/	0	0	0			0
予算額(円)	1,751,006,000			実績額(円)		1,344,473,000	
施策の有効性	<p>中心市街地に位置する既存のサッカーフィールドに隣接して文化活動、スポーツ活動を並行して実施できる複合施設を整備し、最先端のデジタル技術を導入して様々な事業を展開することにより、単なる文化活動・スポーツ活動にとどまらず、市民の健康増進、スポーツツーリズムの推進拠点として市内外からの人の流れを作り、地域活性化を図ることができる。</p>						
達成できなかった理由	令和5年度は施設建設中であり実績なし。効果検証は令和6年度の実績以降。						
今後の方針	<p>令和4年度、令和5年度の2か年をかけて拠点となる文化スポーツ複合施設を整備し、令和6年度当初から開業した。</p> <p>AIカメラによる映像配信、3Dスキャナーと体組成計による体形の可視化、センサー機器による筋力・持久力・俊敏性等の測定、スマートフォンアプリによる観光情報・防災情報の提供、予約システムによる施設管理の効率化など、単なる文化芸術・スポーツ活動の場ではなく、デジタル技術を活用したDXの実現、市民健康の増進、スポーツツーリズムによる地域経済の活性化を推進していく。</p>						

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）
効果検証シート（R5実績分）

事業名	四方八方絶景三昧！ActiveField形成プロジェクト						
事業概要	これまで来訪客の集中時期に波があった八方ヶ原について、「通年型・滞在型観光」を実現するため、ポストコロナに向けた観光需要に対応可能なアウトドア体験や宿泊が可能となるよう、山の駅たかはらの機能や観光コンテンツの拡充を図ることで、八方ヶ原全体の観光入込人数の増加と観光消費額の増加を目指す。						
事業内容	山の駅たかはらをアウトドア観光の拠点とするため、施設内に受付用カウンターや施設利用者向けのWi-Fi環境を設置するほか、キャンプ場やアウトドアアクティビティ利用者が利用するためのシャワー室の設置をおこなう。 山の駅たかはらの周辺では、指定管理者や地域の事業者によるキャンプ場の運営やキャニオニング、マウンテンバイク、スノートレッキングなどのサービス提供を行うものとする。						
KPI①	八方ヶ原の観光入込数（人）						
KPI②	山の駅たかはらの利用者数（人）						
KPI③	山の駅たかはらの売上高（万円）						
	事業開始前 （現状値）	1年目 令和4年度	2年目 令和5年度	3年目 令和6年度	4年目 令和7年度	5年目 令和8年度	KPI増加分 の累計
目標値（KPI①）	153,930	10,000	15,000	15,000	10,000	10,000	60,000
目標値（KPI②）	61,215	3,000	8,000	6,000	2,000	2,000	21,000
目標値（KPI③）	1,886.0	260.0	470.0	120.0	40.0	20.0	910.0
実績値（KPI①）		18,730	-11,510				7,220
実績値（KPI②）		8,655	-4,886				3,769
実績値（KPI③）		-325.0	7.0				-318.0
予算額(円)	35,420,000		実績額(円)			34,595,000	
施策の有効性	本年度は全てのKPIについて目標が達成できていないが、山の駅たかはらは八方ヶ原の拠点施設として多くのお客様にご利用いただいたことから、施策は有効と判断できる。						
達成できなかった理由	9月4日の豪雨で矢板市側の県道が1か月間通行止めになり、八方ヶ原へ行くことができず、観光入込数が減少した。 また、通行止めに伴い山の駅たかはらにおいても、臨時休業やレストランの規模を縮小しての営業、キャンプ客のキャンセルが続いたことにより、目標を達成できなかった。						
今後の方針	山の駅たかはらのキャンプ場事業については、日本最大級のキャンプ場検索予約サイトへ掲載したことで利用客が増加しているため、キャンプ用品の販売やお土産品のラインナップを増やすなど、売上増になる施策を展開していく。 また、山の駅たかはらのレストランメニュー開発や、軽食の提供などを行い、客単価の増加を図っていく。						

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）
効果検証シート（R5実績分）

事業名	「シームレスなスマート・スポーツ合宿」を実現するモデル施設整備事業						
事業概要	矢板市城の湯温泉センターの既存の温泉施設（1号館）は継続しつつ、2号館については新たに宿泊施設に改修する。新たに開業する文化スポーツ複合施設と連携を図ることで、データを活用した付加価値を提供するスポーツ合宿のモデルとしての機能強化を図り、「矢板市城の湯温泉センター」を、スポーツ合宿を軸とした「滞在型スポーツツーリズム」の拠点とする。						
事業内容	<p>【城の湯温泉センター2号館浴室等を宿泊施設へ改修】 2号館西側を宿泊施設へ改修する。客室は19部屋で定員50名とし、現在のスポーツ合宿のニーズをふまえ、シングル及びツインでの利用を中心に、4名部屋などの利用も可能とした。</p> <p>【「スマート・スポーツ合宿」プログラムの実施】 行動認識AIデータや体組成計、フードモデル食育システムを提供することで、子どもの合宿から、より競技志向の高いチームまでの合宿誘致が可能となる。</p> <p>【高速インターネット通信及び無料Wi-Fiの整備】 文化スポーツ複合施設で得られた行動認識AIデータ等を即時に利用できるように通信環境を整備した。</p>						
KPI①	スポーツツーリズムによる年間経済波及効果（億円）						
KPI②	城の湯やすらぎの里全体の年間売上高（指定管理料を除く）（万円）						
KPI③	城の湯やすらぎの里スポーツ合宿（宿泊）団体数（団体）						
KPI④	文化スポーツ複合施設利用者数（人）						
	事業開始前 （現状値）	1年目 令和5年度	2年目 令和6年度	3年目 令和7年度	4年目 令和8年度	5年目 令和9年度	KPI増加分 の累計
目標値（KPI①）	12.19	2.86	4.50	1.70	0.25	0.50	9.81
目標値（KPI②）	5,690.00	1,740.00	3,578.00	82.00	68.00	68.00	5,536.00
目標値（KPI③）	0	0	50	10	10	10	80
目標値（KPI④）	0	0	30,000	10,000	7,000	5,000	52,000
実績値（KPI①）		-0.33					-0.33
実績値（KPI②）		-521.00					-521.00
実績値（KPI③）		0					0
実績値（KPI④）		0					0
予算額(円)	218,812,000			実績額(円)		208,646,979	
施策の有効性	令和5年度については、「城の湯温泉センター」については改修工事中であり、「文化スポーツ複合施設」については建設中であった。令和6年度は、各施設が集客のため相互連携を図っていくため、施策の有効性はあると考える。						
達成できなかった理由	「城の湯温泉センター」は改修工事のため客足が遠のいたことや、工事のため1ヶ月間休館したことが挙げられる。						
今後の方針	城の湯温泉センターと文化スポーツ複合施設が連携を図り誘客を強化する。また、県内外からの宿泊利用者の取りこぼしが無いように、特に繁忙期については市内宿泊施設とも情報を共有する。						